

News Release

若い女性がガンになった時のこと、もっと知って欲しい
**チャリティー・ライブ「Rock Beats Cancer FES Vol.4～Girls Session～」に
抽選で18～29歳の女性25組50名様ご招待**
応募期間:2014年5月2日(金)～5月23日(金)17:00まで

チューリッヒ・ライフ・インシュアランス・カンパニー・リミテッド（以下「チューリッヒ生命」、日本支店：東京都中野区、日本における代表者：太田健自、URL：<http://www.zurichlife.co.jp/>）は、当社がサポートするチャリティー・ライブ「Rock Beats Cancer FES Vol.4～Girls Session～（ロック・ビーツ・キャンサー・フェス Vol.4～ガールズ・セッション～）」に、抽選で18～29歳の女性25組50名様をご招待いたします。

このイベントは、小児がんと若年層（15～29歳）のがんの疾患啓発や患者支援、研究推進の支援を目的としたチャリティー・ライブです。「Rock Beats Cancer FES Vol.4～Girls Session～」では、小児・若年層（15～29歳）の「女性のがん」にフォーカスし、病気や治療のこと、女性ならではの後遺症や悩み等さまざまな小児・若年層の女性のがんについて、正しく知ることの大切さについてお伝えしていきます。

出演者は、昨年、卵巣境界悪性腫瘍の治療を乗り越えた麻美ゆまさんや小児がん体験から音楽を通じてがん啓発活動を続けるより子さん、小児がんの疾患啓発や募金活動を行うLinQ（リンク）等、全て女性。司会はフリーアナウンサーの町亜聖さんが担当いたします。

なお、今回のイベントで集められた寄付金は樋口宗孝がん研究基金（MHF：Munetaka Higuchi Foundation For Cancer Awareness and Research）を通じて、小児・若年層のがんの患者支援、疾患啓発および研究推進のために活用されます。



上段左より、麻美ゆま、より子。下段左より、涙-NAMIDA-、LinQ。（順不同・敬称略）

応募要項

- ・応募期間：2014年5月2日（金）～5月23日（金）17：00まで
- ・応募方法：下記URLの応募フォームからお申込みください。
<http://ws.formzu.net/fgen/S40421573/>
- ・応募資格：18～29歳の女性
- ・当選発表：当選者の発表は、招待状の発送をもってかえさせていただきます。
(5月下旬頃、Rock Beats Cancer!!実行委員会事務局より発送いたします。)

※Rock Beats Cancer FES vol.4～Girls Session～へのご招待募集は、Lilly Oncology(日本イーライリリー株式会社)との共同開催となります。

「Rock Beats Cancer FES Vol.4～Girls Session～ supported by チューリッヒ生命・Lilly Oncology」イベント概要

- ・開催日：2014年6月6日(金)開場：18:00 開演：19:00
- ・場所：恵比寿LIQUIDROOM (リキッドルーム)
- ・主催：Rock Beats Cancer !! 実行委員会
- ・企画：樋口宗孝がん研究基金
- ・チケット：3,500円(税込・ドリンクチャージ別) ※チケットお問合せ：LIQUIDROOM 03-5464-0800
- ・定員：1,000名
- ・司会：町亞聖
- ・出演アーティスト：LinQ、涙—NAMIDA—、麻美ゆま、より子 (以上順不同、敬称略) ※2014年5月2日現在
- ・公式ホームページ：<http://www.cancernet.jp/rbc/04/>

本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先：

チューリッヒ生命 (チューリッヒ・ライフ・インシュアランス・カンパニー・リミテッド)

マーケティング・コミュニケーション部 広報担当：中本、石川

Tel：03-6832-1612 Fax：03-6832-1620 E-mail：jpzmno@zurich.co.jp

■小児がんについて

日本では、毎年約2,000人の子供が「がん」と診断されており、子供の人口の約1万人に1人が小児がんにかかっているといわれています。近年、徐々に治療環境の整備などが進められていますが、まだ十分といえる水準ではなく、治療法や薬の臨床研究においても他のがんに比べて遅れています。また、がんを克服し大人になってもがんの治療による成長の遅れや身体的障害、後遺症を抱えている人も多く、就学や就労など社会で自立するための支援を必要としており、大人のがんと異なるさまざまな課題があります。

■若年層世代（15～29歳）のがんについて

若年層世代は、AYA（アヤ：Adolescent and young Adult(思春期と若年成人)の略）と呼ばれ、一般的に15歳～29歳の世代を指します。AYA世代のがん患者は、治療中やその後の生活の中で、就学、就労、恋愛、結婚、出産など人生のターニングポイントとなる様々な出来事と向き合う機会が想定され、高齢のがん患者とは異なるAYA世代特有の問題があると考えられています。

■樋口宗孝がん研究基金(MHF)について

樋口宗孝がん研究基金（MHF：Munetaka Higuchi Foundation for Cancer Awareness and Research）は、正しいがんに関する情報や知識の啓発、より一層のがん研究の推進に資する事を目的に2012年4月、がん医療情報を発信するNPO法人キャンサーネットジャパンを事務局として設立されました。

基金の名称は、2008年11月30日、肝細胞がんで逝去したLOUDNESSのドラマー樋口宗孝氏の偉業を称え、同氏の名前にちなんで名づけられました。同基金では、チャリティライブ、イベント、グッズ販売等を通して、その収益を本基金の財源とし、がん疾患啓発イベント、がん研究団体・研究者に対する支援活動を展開してまいります。



※樋口宗孝がん研究基金(MHF)公式ホームページ：<http://www.cancernet.jp/mhf4car/>

■チューリッヒ・インシュアランス・グループについて

チューリッヒ・インシュアランス・グループは、グローバル市場および各国市場において幅広い商品ラインアップを揃える世界有数の保険グループです。スイスのチューリッヒ市を本拠に1872年に設立され、55,000人を超える従業員を有し、世界170カ国以上の個人、そして中小企業から大企業までのあらゆる規模の法人およびグローバル企業のお客様に、損害保険および生命保険の商品・サービスを幅広く提供しています。持ち株会社であるチューリッヒ・インシュアランス・グループ社（銘柄コード：ZURN）はスイス証券取引所に上場しており、米国においては、米国預託証券プログラム（銘柄コード：ZURVY）のレベル1に分類され、OTCQXにて店頭取引されています。チューリッヒグループに関する詳しい情報はwww.zurich.comをご覧ください。